

サステナビリティレポート・統合報告書の再設計 ～本当に重視すべきことは何か？～



近年、サステナビリティ部門からは「ページ数が増え続けて情報開示で手一杯」「多くの情報を開示しているが本当に活用されているのかわからない」といった声が多く聞かれます。そのため、これからは「何を追加するか」だけでなく、「何をやらないか」という視点も必要です。実際に、先進企業の中では、単純に情報量を増やすのではなく、情報開示の目的を改めて見直し、媒体の役割分担や掲載内容の整理を進める動きも見られます。本セミナーでは、最新の統合報告書・サステナビリティレポートを参考にしつつ、「本当に重視すべきことは何か」「何を整理しているのか」「注力すべき情報開示とは何か」について整理していきます。2027年版のレポート企画や情報開示方針の見直しを検討されている方は、ぜひご参加ください。

●このような方におすすめです

- ・ 来年度の統合報告書・サステナビリティレポートの企画を検討している
- ・ 投資家・評価機関対応と情報発信のバランスに悩んでいる
- ・ 統合報告書、サステナビリティレポート、有価証券報告書の役割分担を見直したい

講座概要

- ◆日時 2026年10月7日(水)11:00～12:00
- ◆会場 オンライン@Zoom
※参加 URL はお申込頂いた方にメールでご連絡いたします。
- ◆対象者 サステナビリティ情報開示の担当者
- ◆定員 50名
※定員になり次第締め切ります。
※同業他社のご参加につきましては、誠に恐縮ながらご遠慮願います。
- ◆参加費 無料
- ◆お問合せ セミナー事務局 E-mail/application(アットマーク)cre-en.jp
- ◆お申込み <https://forms.cloud.microsoft/r/v9xwH6mwem>
よりお申し込みください。

登壇者

冨田 洋史

株式会社クレアン 代表取締役社長/コンサルタント

2012年より、サステナビリティのコンサルタントとしてクレアンに参画。会計・財務分野のコンサルティング経験も活かして、財務とサステナビリティの視点を統合した、経営計画・ビジョンの策定やレポート、社内浸透などを支援。これまでに、大手企業を多数伴走。

<株式会社クレアン>

1988年設立。サステナブルな社会を実現することを使命に、経営コンサルティング事業を展開。2000年より大企業を中心にサステナビリティ推進体制の立ち上げ、マネジメントの推進、サステナビリティレポート、統合レポートをはじめとした情報開示およびステークホルダーとのコミュニケーション支援を一貫して行っています。